

厚生労働省における環境配慮の方針

平成16年6月29日
環境対策推進本部決定
平成17年9月28日
一部改正
平成18年9月29日
一部改正
平成19年7月26日
一部改正
平成20年11月5日
一部改正
平成21年11月9日
一部改正

I 「環境立国・日本」に向けて

「21世紀環境立国戦略」（平成19年6月1日閣議決定）においては、「健全で恵み豊かな環境を将来世代へと継承していくためには、国内外の幅広い関係者の参加と協働の下、環境保全を願う気持ちを一つに束ねて、一人一人の取組の輪を広げ、力強く後押ししていくことを、今求められている」としている。そのためには、「自然との共生を図る智慧と伝統を現代に活かした美しい国づくり」や「車の両輪として進める環境保全と経済成長・地域活性化」を行っていくことで「環境立国・日本」を実現することにつながるものである。

また、「環境基本計画」（平成18年4月7日閣議決定）においては、我々が目指すべき「持続可能な社会とは、健全で恵み豊かな環境が地球規模から身近な地域までにわたって保全されるとともに、それらを通じて国民一人一人が幸せを実感できる生活を享受でき、将来世代にも継承することができる社会」であるとしており、そのためには「多様化する国民の期待が実現する社会の基盤としての環境が適切に保全されるとともに、経済的側面、社会的側面も統合的に向上することが求められる」ものである。

II 厚生労働省における環境配慮の方針の策定

上記を踏まえて、厚生労働省においては、健全な水循環の構築に向けた取組や化学物質対策の取組など、厚生労働行政における環境に対する配慮が重要であることから、その配慮方針（以下「環境配慮の方針」という。）を策定することとする。本方針において、厚生労働省自らの具体的な取組とその目標を明らかにし、その進捗状況を点検することにより、環境対策の効果的かつ効率的な推進を図ることとする。

また、通常の経済活動主体としての厚生労働省が、その業務を遂行する際の取組についても、同様に本方針の対象とすることとする。

Ⅲ 環境配慮の方針の対象となる施策

環境配慮の方針は、厚生労働行政に係る環境保全のための施策及び通常の経済活動主体としての厚生労働省の業務における環境配慮の取組について定める。

（１）厚生労働行政に係る環境保全のための施策

厚生労働省は、地球環境を保全するため、「環境基本計画」における重点分野である「戦略的政策プログラム」のうち次に掲げる取組につき、厚生労働行政分野を対象として施策を推進することとする。具体的な施策は別紙のとおりとする。

- ① 地球温暖化問題に対する取組
- ② 物質循環の確保と循環型社会の構築に向けた取組
- ③ 環境保全上健全な水循環の確保に向けた取組
- ④ 化学物質の環境リスクの低減に向けた取組
- ⑤ 生物多様性の保全のための取組

（２）通常の経済活動主体としての厚生労働省の業務における環境配慮の取組

厚生労働省は、経済活動主体として環境に及ぼす影響を低減するため、「京都議定書目標達成計画」（平成１７年４月２８日閣議決定）、「２１世紀環境立国戦略」等に基づき、次に掲げる取組を対象として、取組を推進する。具体的な施策は別紙のとおりとする。

- ① 国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律（平成１２年法律第１００号）に基づく取組
- ② 「政府がその事務及び事業に関し温室効果ガスの排出の抑制等のため実行すべき措置について定める計画」（政府実行計画）（平成１

9年3月30日閣議決定)に基づく取組であって、燃料使用量、エネルギー使用量、廃棄物排出量、上水使用量、用紙使用量といった事項について把握し、その減量化を行うもの

- ③ 「早期退庁を促進するための具体的方策について」(平成14年8月早期退庁促進のための省内検討チーム)に基づく取組であって、「一斉定時退庁日」などの推進、その実施状況の把握による仕事と生活の調和の取れた働き方を実現すること等を通じて、職場における環境負荷の低減に資するよう努めるもの

IV 環境対策推進本部への報告等

環境配慮の方針の対象となる施策を実施する際には、毎年度、当該施策の関係局がその進捗状況について自己点検を行った後、環境対策推進本部(平成16年6月厚生労働大臣伺い定めにより設置)に報告し、その点検結果を施策等の見直し、改善等へ適切に反映させることとする。

V 検討

環境対策推進本部においては、3年に1度、環境配慮の方針について検討を行い、その結果を踏まえて見直すこととする。

- ※ 平成22年までに行なわれる見直しに際しては、厚生労働省におけるISO14001の将来的な認証取得の可能性について検討することとする。

厚生労働省における環境配慮の方針の対象となる施策について

「厚生労働省における環境配慮の方針」Ⅲ（１）及び（２）に基づき、次に掲げる「厚生労働行政に係る環境保全のための施策」及び「通常の経済活動主体としての厚生労働省の業務における環境配慮の取組」を具体的な施策とする。

Ⅰ 厚生労働行政に係る環境保全のための施策

（１）地球温暖化問題に対する取組

① 関連分野における温室効果ガス削減の推進

《施策の目標》

- ・厚生労働省所管業種において策定した自主行動計画に基づき、その業種の特性に応じた省CO₂対策を講ずる。

《施策の柱》

- ・定期的に厚生労働省環境自主行動計画フォローアップ会議を開催することで、各団体が作成した自主行動計画について、ヒアリングその他の方法により実施状況を調査した上で評価を行い、計画の着実な実施を図る。

② 水道施設における地球温暖化対策の推進

《施策の目標》

- ・水道事業における電力消費量の削減を推進する。

（指標：給水量当たりの電力使用量）

目標値 ⇒ 水道施設における単位水量当たり電力使用量を10年間で10%削減する。

実績値 ⇒ （平成19年度末）0.508 kWh/m³

（平成18年度末）0.509 kWh/m³

（平成17年度末）0.510 kWh/m³

《施策の柱》

- ・エネルギーの使用の合理化に関する法律（昭和54年法律第49号）の適切な運用
- ・施設の更新期にあわせた環境保全対策に係る施設整備の推進

③ 時間外労働の削減等による温暖化の防止

《施策の目標》

- ・時間外労働の削減・効率的な業務推進などの企業内での「働き方」の見直しにより、地球温暖化対策を推進する。

（指標：所定外労働時間数（厚生労働省「毎月勤労統計調査」））

実績値 ⇒ （平成20年度）；145時間（総実労働時間数 1,813時間）

（平成19年度）；160時間（総実労働時間数 1,850時間）

（平成18年度）；156時間（総実労働時間数 1,842時間）

《施策の柱》

- ・所定外労働の削減
- ・「ノー残業デー」の導入・拡充

(2) 物質循環の確保と循環型社会の構築に向けた取組

①□ 生活衛生関係事業者による環境配慮の取組の推進

《施策の目標》

- ・ 旅館・飲食・食肉関係事業者による食品循環資源の再生利用率の向上を図る。

(指標：旅館・飲食・食肉関係事業者による食品環境資源の再生利用等による減量の割合(%))

目標値 ⇒ (平成21年度) ; 24.0% (対象：全事業所)

実績値 ⇒ (平成17年度末) ; 20.5% (対象：再生利用等に取り組んでいる事業所(47%)における実施率)

- ・ 生活衛生関係事業者による自主的な環境配慮の取組を推進する。

《施策の柱》

- ・ 計画的かつ効率的な「食品リサイクルシステム」の構築と推進に対する支援(食品循環資源の再生利用等の促進に関する法律(平成12年法律第116号)の適正な運用)
- ・ 生活衛生関係営業の運営の適正化及び振興に関する法律(昭和32年法律第164号)に基づく「振興指針」の見直しの際に、随時環境配慮に関する事業内容をより積極的に位置づけ

② 医薬品・医療機器製造販売業者等による環境配慮の取組の推進

《施策の目標》

- ・ 医薬品・医療機器製造販売業者等による容器包装等の再資源化の向上を図る。

(指標：日本製薬工業協会加盟企業の工場・事業所から発生する廃棄物の最終処分量)

目標値 ⇒ (平成22年度) ; 16,000t (平成2年度比20.0%)

実績値 ⇒ (平成19年度) ; 7,300t (平成2年度比9.1%)
(平成18年度) ; 8,100t (平成2年度比10.1%)

- ・ 医薬品製造販売業者等による自主的な環境配慮の取組を推進する。

《施策の柱》

- ・ 容器包装に係る分別収集及び再商品化の促進等に関する法律(平成7年法律第112号)の適正な運用
- ・ 資源の有効な利用の促進に関する法律(平成3年法律第48号)の適正な運用
- ・ 密閉型蓄電池を使用する医薬品製造販売業者等に対する自主回収及び再資源化への支援(資源有効利用促進法に基づく主務大臣の認定)
- ・ グリーン購入、環境報告書の作成・公表の促進等、環境に配慮した経営に向けた普及啓発

③ 医療施設、保健衛生施設、社会福祉施設等における環境配慮の取組の推進

《施策の目標》

- ・医療施設、保健衛生施設、社会福祉施設等における環境対策関係法令の遵守を促す。
- ・医療施設、保健衛生施設、社会福祉施設等設置者による自主的な環境配慮の取組を推進する。

《施策の柱》

- ・建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律（平成12年法律第104号）の遵守
- ・廃棄物の処理及び清掃に関する法律（昭和45年法律第137号）の遵守
- ・グリーン購入、環境報告書の作成・公表の促進等、環境に配慮した経営に向けた普及啓発

④ 厚生労働省所掌の事業者（独立行政法人、公益法人等）による自主的な環境配慮の取組の推進

《施策の目標》

- ・厚生労働省所掌の事業者（独立行政法人、公益法人等）による自主的な環境配慮の取組を推進する。

《施策の柱》

- ・グリーン購入、環境報告書の作成・公表の促進等、環境に配慮した経営に向けた普及啓発

(3) 環境保全上健全な水循環の確保に向けた取組

① □ 健全な水循環系の構築

<p>《施策の目標》</p> <ul style="list-style-type: none">・水道広域化、漏水対策、用途間転用等により、水資源の有効利用を推進する。 <p>(指標；有効率(%) (=年間有効水量/年間給水量))</p> <p>目標値 ⇒ 95%</p> <p>実績値 ⇒ (平成19年度末)；92.7%</p> <p>(平成18年度末)；92.5%</p> <p>(平成17年度末)；92.3%</p>
<p>・流域関係者と連携し、取排水システムの再編等良好な水道水源の確保に努める。</p> <p>(指標；原水良好度(有機物(TOC)の水道原水における水道水質基準達成率(%)))</p> <p>実績値 ⇒ (平成19年度末)；99.0%</p> <p>(平成18年度末)；99.0%</p> <p>(平成17年度末)；98.5%</p>
<p>・所要の施設整備を行い、安心・快適な水道水を供給する。</p> <p>(指標；水道普及率(%))</p> <p>目標値 ⇒ 前年度以上</p> <p>実績値 ⇒ (平成19年度末)；97.4%</p> <p>(平成18年度末)；97.3%</p> <p>(平成17年度末)；97.2%</p>
<p>《施策の柱》</p> <ul style="list-style-type: none">・水道広域化、水道水源開発、未普及地域解消、老朽管布設替、高度浄水処理施設整備等に係る技術的・財政的支援措置・原水から給水までの統合的アプローチによる水道水質管理水準の向上

② 水道施設における廃棄物・リサイクル対策の推進

<p>《施策の目標》</p> <ul style="list-style-type: none">・浄水汚泥の有効利用を推進する。 <p>(指標；浄水発生土の有効利用率(%))</p> <p>実績値 ⇒ (平成19年度末)；63%</p> <p>(平成18年度末)；55%</p> <p>(平成17年度末)；56%</p>
<p>《施策の柱》</p> <ul style="list-style-type: none">・浄水汚泥の循環的利用の推進

(4) 化学物質の環境リスクの低減に向けた取組

① 環境リスクの評価・管理の推進

《施策の目標》

- ・化学物質について、環境リスクの評価、管理等を推進する。

(指標；規制物質数)

実績値 ⇒ (平成21年4月1日)；第一種特定化学物質16、第二種特定化学物質23、第一種監視化学物質36、第二種監視化学物質921

(平成20年4月1日)；第一種特定化学物質16、第二種特定化学物質23、第一種監視化学物質35、第二種監視化学物質909

(平成19年4月1日)；第一種特定化学物質15、第二種特定化学物質23、第一種監視化学物質28、第二種監視化学物質859

《施策の柱》

- ・有害性及びリスクの評価、管理等の実施（化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律（昭和48年法律第117号）の適正な運用）
- ・既存化学物質の安全性点検の実施

② リスク研究事業の推進

《施策の目標》

- ・環境中化学物質のリスク研究事業を推進し、施策へ反映する。

(指標；厚生労働科学研究における研究課題数)

実績値 ⇒ (平成21年度)；26件に交付（10億円）

(平成20年度)；25件に交付（12億円）

(平成19年度)；29件に交付（12億円）

(指標；指針の検討（「殺虫剤指針」は平成17年度に改訂作業終了））

現状 ⇒引き続き新たな指針の策定の必要性について検討中。

《施策の柱》

- ・内分泌かく乱物質、ダイオキシン等に関する調査等研究事業の推進
- ・殺虫剤指針に基づく施策の推進

③ 情報収集・提供体制の推進

《施策の目標》

- ・化学物質に係る情報収集・提供体制を整備する。

(指標；既存化学物質毒性データベース（JECDB）の登録状況）

実績値 ⇒ (平成20年度末)；登録物質265件※（累計）

(平成19年度末)；登録物質265件（累計）

(平成18年度末)；登録物質265件（累計）

(平成17年度末)；登録物質246件（累計）

※現在、既存の提供情報の形式をhtmlフォーマットからpdfフォーマットに順次変更中

《施策の柱》

- ・化学物質に係る各種データベースの整備、インターネット等を通じた情報の発信等

④ 国際的な研究協力の推進

《施策の目標》

- ・化学物質対策に係る国際的な研究協力を推進する。

(指標；OECDへの報告件数)

目標値 ⇒ (平成22年末) ; 96物質 (累計)

実績値 ⇒ (平成20年度末) : 21物質 (累計)

(平成19年度末) ; 16物質 (累計)

(平成18年度末) ; 12物質 (累計)

(平成17年度末) ; 5物質

- ・ヨハネスブルクサミット (平成14年) において、平成32年までに化学物質の人健康と環境への悪影響を最小化する国際目標が策定された。
- ・OECD全体の目標として、平成22年までに1000物質の点検を行うこととされた。(各国の生産HPV (高生産量化学物質) 数に応じて目標を算出しており、日本は9.6% (96物質) 行うこととしている。)

《施策の柱》

- ・OECD (経済協力開発機構) 等の関係国際機関の活動への参画等

(5) 生物多様性の保全のための取組

① 医薬品分野における生物多様性の確保の推進

《施策の目標》

- ・ 医薬品分野において生物多様性の確保を図る。
(指標； 第一種使用等（開放系での使用等）に係る承認件数、第二種使用等（閉鎖系での使用等）に係る確認件数)
- 現状 ⇒ 第一種使用等に係る承認件数； 0件（平成20年度）
； 1件（平成19年度）
； 0件（平成18年度）
第二種使用等に係る確認件数； 22件（平成20年度）
； 8件（平成19年度）
； 11件（平成18年度）

《施策の柱》

- ・ 遺伝子組換え生物等を使用した医薬品の適正な製造等の確保（遺伝子組換え生物等の使用等の規制による生物の多様性の確保に関する法律（平成15年法律第97号）の適正な運用）

② 里地里山の保全による生物多様性の保全

《施策の目標》

- ・ 農林業等における労働力の確保・育成により、里地里山の保全に資する森林や農耕地等の整備等を行い、もって生物の多様性を図る。
(指標； 林業事業体共同説明会参加者の就職率(%))
- 実績値 ⇒ (平成20年度)； 15%
(平成19年度)； 19%
(平成18年度)； 19%
- (指標； 就農等支援コーナー相談件数)
- 実績値 ⇒ (平成20年度)； 6, 893件
(平成19年度)； 5, 379件
(平成18年度)； 6, 678件

《施策の柱》

- ・ 林業等に関する職業講習会・就職ガイダンス等の実施
- ・ 就農等支援コーナー等による求人情報の提供

Ⅱ 通常の経済活動主体としての厚生労働省の業務における環境配慮の取組

(1)

<p>《取組の目標》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・環境物品を活用することにより、環境への配慮を促進する。 <p>(指標；調達率100% (95%) を達成した品目数の割合)</p> <p>目標値 ⇒ 100%</p> <p>実績値 ⇒ (平成20年度)；70.1% (89.2%) (※詳細別添)</p> <p>(平成19年度)；69.7% (91.4%)</p> <p>(平成18年度)；71.7% (87.3%)</p>
<p>《取組の柱》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律（平成12年法律第100号）に基づく環境物品等の調達を図るための方針に基づくすべての取組の推進

(2)

<p>《取組の目標》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・温室効果ガスの排出を抑制し、環境への配慮を促進する。 <p>(指標；温室効果ガスの総排出量削減割合（平成13年度比）)</p> <p>目標値 ⇒ (平成22～24年度平均)；13.2%</p> <p>実績値 ⇒ (平成19年度)；2.4%</p>
<p>《取組の柱》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地球温暖化対策の推進に関する法律（平成10年法律第117号）に基づく「政府がその事務及び事業に関し温室効果ガスの排出の抑制等のため実行すべき措置について定める計画」（政府実行計画）（平成19年3月30日閣議決定）に基づくすべての取組の推進

※ 温室効果ガス総排出量実績値

項目	19年度目標	単位	年度	本府省	地方支部局等	政府全体
1 公用車の 燃料使用量	13年度比で 概ね85%以 下	GJ	H13	3,816	32,869	36,685
			H14	3,806	36,742	40,548
			H15	3,051	41,686	44,738
			H16	2,996	47,770	50,766
			H17	2,728	48,730	51,459
			H18	2,721	44,440	47,161
			H19	2,806	44,141	46,948
2 用紙の使用量	13年度比で 増加させな い	トン	H13	1,037	4,578	5,615
			H14	1,171	4,889	6,059
			H15	1,299	4,922	6,221
			H16	1,201	5,010	6,211
			H17	720	6,522	7,242
			H18	1,004	5,735	6,739
			H19	989	7,999	8,988

3	事務所の単位 面積当たり 電力消費量	13年度比で 概ね90% 以下	kWh/m ²	H13	213.1	113.1	119.1
				H14	171.2	121.8	124.4
				H15	228.9	123.7	129.4
				H16	200.1	122.7	127.6
				H17	225.3	120.6	126.6
				H18	178.2	122.1	125.8
				H19	183.0	121.5	125.6
4	エネルギー 供給設備等 における 燃料使用量	13年度比で 増加させない	GJ	H13	31,212	548,985	580,197
				H14	95,836	539,019	634,855
				H15	82,075	603,508	685,584
				H16	90,732	554,008	644,741
				H17	23,858	520,368	544,226
				H18	22,685	423,470	446,155
				H19	23,304	437,232	460,536
5	単位面積 当たりの 上水使用量	13年度比で 概ね90% 以下	m ³ /m ²	H13	0.74	1.17	1.14
				H14	0.76	1.16	1.14
				H15	0.71	1.14	1.11
				H16	0.55	1.00	0.97
				H17	0.53	1.00	0.97
				H18	0.48	0.77	0.75
				H19	0.51	0.92	0.89
6	廃棄物の量	13年度比で 概ね75% 以下	トン	H13	723	10,868	11,592
				H14	663	12,351	13,014
				H15	813	10,894	11,707
				H16	802	9,824	10,626
				H17	755	8,630	9,386
				H18	683	7,715	8,398
				H19	695	8,394	9,089
	可燃ゴミ の量	13年度比で 概ね60% 以下	トン	H13	399	8,655	9,054
				H14	347	10,332	10,679
				H15	432	8,769	9,201
				H16	464	7,539	8,003
				H17	429	6,711	7,141
				H18	373	6,368	6,741
				H19	410	5,850	6,259
7	温室効果 ガスの 総排出量	13年度比で 13.2%削減	トンCO ₂	H13	10,111	105,962	116,074
				H14	10,868	109,614	120,482
				H15	12,244	115,347	127,591
				H16	13,562	120,014	133,576
				H17	12,140	116,907	129,047
				H18	9,660	104,306	113,966
				H19	7,727	105,599	113,327

(3)

《取組の目標》

- ・ 仕事と生活の調和が取れた働き方の実現を通じて、職場としての環境負荷の低減に努める。

(指標；「休暇作戦 2 per 1」達成率（本省内部部局）)

目標値 ⇒ 100%

実績値 ⇒ (平成20年度)； 52.3

(注) 達成率とは、各部局の職員総数のうち、1日以上休暇を取得した人数の割合を指す。

《取組の柱》

- ・ 「早期退庁を促進するための具体的方策について」（平成14年8月早期退庁促進のための省内検討チーム）に基づいた「一斉定時退庁日」等の推進、「休暇作戦 2 per 1」の促進。

平成20年度特定調達品目調達実績取りまとめ表

年間集計用

分野	品目	① 目標値	② 総調達量	③ 特定調達品等の 調達量	④ 準特定調達品等の調達量		⑤ 準特定調達品等の調達量		④ 特定調達品等の 調達率 =③/②	⑤ 目標達成率 =④/① (一部=③/①)	判断の基準より高い水準を満足する物品等を調達した場合		判断の基準を満足しない物品等を調達した場合		⑬ 備考	
					④ 準特定調達品等の調達量 第1四半期調達分	⑤ 具体的仕様 環境への配慮の内容	④ 準特定調達品等の調達量 第2~第4四半期分	⑤ 具体的仕様 環境への配慮の内容			⑥ 調達量 ③の内数	⑦ 具体的仕様 環境への配慮の内容	⑧ ⑨ 調達量	⑩ ⑪ 具体的仕様の主な例		⑫ ⑬ 主な理由
紙類	(8) コピー用紙	100%	37,652,562 kg	37,535,016 kg	865,674 kg	1,573,748 kg	1,573,748 kg	100%	100%	324,786 kg	古紙ハルブ配合率100%、包装が簡易	298,527 kg	117,546 kg	白色度100%	古紙配合	機能・性能上の必要性
	フォーム用紙	100%	10,152 kg	10,152 kg	357 kg	9,650 kg	9,650 kg	100%	100%	74 kg	グリーン購入法適合、製品の包装が簡易	0 kg	0 kg	—	—	—
	インクジェットカラープリンター用塗工紙	100%	11,396 kg	11,391 kg	1 kg	0 kg	0 kg	100%	100%	11 kg	古紙ハルブ配合率70%以上	9,864 kg	5 kg	古紙ハルブ配合率70%未満	環境負荷のなるべく低いものを選択	機能・性能上の必要性
	ジヤノ感光紙	100%	78 kg	61 kg	78 kg	133 kg	133 kg	78%	78%	6 kg	古紙ハルブ配合率70%以上	1 kg	17 kg	古紙ハルブ配合率70%未満	環境負荷のなるべく低いものを選択	機能・性能上の必要性
	印刷用紙(カラー用紙を除く)	100%	74,023 kg	67,726 kg	25,722 kg	58,102 kg	58,102 kg	91%	91%	8,661 kg	古紙ハルブ配合率100%	2,639 kg	6,296 kg	白色度約80%	簡易包装	必要性(診療用等に使用)
	印刷用紙(カラー用紙)	100%	102,222 kg	95,586 kg	16,198 kg	17,122 kg	17,122 kg	94%	94%	3,181 kg	古紙ハルブ配合率100%	4,291 kg	6,637 kg	白色度約80%	古紙ハルブ配合率20%程度	予算上の制約
	トイレットペーパー	100%	256,650 kg	256,650 kg	1,217 kg	4,027 kg	4,027 kg	100%	100%	29,982 kg	古紙ハルブ配合率100%、包装が簡易	28,533 kg	0 kg	—	—	—
	ティッシュペーパー	100%	9,208 kg	8,905 kg	0 kg	0 kg	0 kg	97%	97%	1,518 kg	古紙ハルブ配合率100%、包装が簡易	997 kg	302 kg	ハルブ	簡易包装	必要性(使用感重視)
	シャープペンシル	100%	35,566 本	35,566 本	—	—	—	100%	100%	4,378 本	再生プラスチック70%以上使用、雑音が可能な限り少ない	0 本	0 本	—	—	—
	シャープペンシル替芯	100%	23,970 個	23,970 個	—	—	—	100%	100%	2,869 個	再生プラスチック70%以上、包装が簡易	23 個	0 個	—	—	—
文具類	(81) ボールペン	100%	226,089 本	223,735 本	—	—	—	99%	99%	25,725 本	再生プラスチック70%以上、芯の交換が可能	649 本	2,354 本	再生プラスチック使用量未達成	芯が交換可能	該当品を入手できなかったため
	マーケティングペン	100%	173,126 本	172,441 本	—	—	—	100%	100%	16,601 本	再生プラスチック80%以上、消耗品の補充が可能	315 本	685 本	再生プラスチック使用量未達成	環境負荷のなるべく低いものを選択	該当品を入手できなかったため
	鉛筆	100%	115,905 本	115,186 本	—	—	—	99%	99%	16,684 本	端材等再生資源を使用	3,395 本	719 本	端材等再生資源未使用	端材等再生資源未使用	該当品を入手できなかったため
	スタンプ台	100%	10,165 個	10,165 個	—	—	—	100%	100%	1,192 個	再生プラスチック80%以上、インク瓶の補充が可能	20 個	0 個	—	—	—
	朱肉	100%	5,340 個	5,340 個	—	—	—	100%	100%	793 個	再生プラスチック80%以上、インク瓶の補充が可能	4 個	0 個	—	—	—
	印章セット	100%	257 個	257 個	—	—	—	100%	100%	10 個	インク液の補充が可能	0 個	0 個	—	—	—
	印箱	100%	189 個	184 個	—	—	—	97%	97%	10 個	製品の包装が簡易	0 個	5 個	端材等再生資源未使用	環境負荷のなるべく低いものを選択	該当品を入手できなかったため
	公印	100%	670 個	665 個	—	—	—	99%	99%	27 個	端材等再生資源を使用	0 個	5 個	木版植植材製	公印規程によるため	—
	ゴム印	100%	122,294 個	121,683 個	—	—	—	100%	100%	7,169 個	製品の包装が簡易、端材等再生資源を使用	5,628 個	611 個	端材等再生資源未使用	端材等再生資源未使用	コスト削減・競争性確保のため
	回転ゴム印	100%	6,011 個	6,006 個	—	—	—	100%	100%	787 個	製品の包装が簡易、再生プラスチック配合率100%	59 個	5 個	再生プラスチック使用量未達成	再生プラスチック使用量未達成	機能・性能上の必要性
	定規	100%	5,933 個	5,914 個	—	—	—	100%	100%	854 個	再生PET100%使用	3 個	19 個	再生プラスチック使用量未達成	再生プラスチック使用量未達成	機能・性能上の必要性、コスト削減・競争性確保
	トレー	100%	3,202 個	3,189 個	—	—	—	100%	100%	459 個	製品の包装が簡易、再生プラスチック使用	0 個	13 個	再生プラスチック使用量未達成	再生プラスチック使用量未達成	品質を重視したため
	消しゴム	100%	55,345 個	55,345 個	0 個	0 個	0 個	100%	100%	7,671 個	スリーブの古紙ハルブ配合率100%	996 個	0 個	—	—	—
	ステープラー	100%	10,210 個	10,210 個	—	—	—	100%	100%	2,287 個	再利用を容易に行うように、分離の工夫	51 個	0 個	—	—	—
	ステープラー針リムーバー	100%	7,242 個	7,165 個	—	—	—	99%	99%	1,768 個	再利用を容易に行うように、分離の工夫	1 個	77 個	再生プラスチック使用量未達成	再生プラスチック使用量未達成	機能・性能上の必要性
	連射式クリップ(本体)	100%	5,619 個	5,619 個	—	—	—	100%	100%	125 個	再生プラスチック配合率70%以上	0 個	0 個	—	—	—
	事務用修正具(テープ)	100%	29,393 個	29,304 個	—	—	—	100%	100%	2,824 個	再生プラスチック配合率70%以上、消耗品の交換が可能	56 個	89 個	再生プラスチック使用量未達成	再生プラスチック使用量未達成	該当品を入手できなかったため
	事務用修正具(液状)	100%	3,951 個	3,921 個	—	—	—	99%	99%	466 個	再生プラスチック配合率70%以上	22 個	30 個	再生プラスチック使用量未達成	再生プラスチック使用量未達成	品質を重視したため
	クラフトテープ	100%	14,988 個	14,252 個	13 個	124 個	124 個	95%	95%	1,093 個	古紙ハルブ配合率100%、粘着材が水溶性	971 個	736 個	古紙ハルブ配合率未達成	巻芯古紙ハルブ配合	該当品を入手できなかったため
	粘着テープ(布粘着)	100%	24,547 個	24,229 個	—	—	—	99%	99%	2,626 個	再生プラスチック配合率40%以上	1,303 個	318 個	再生プラスチック使用量未達成	巻芯古紙ハルブ配合率100%	安価であったため
	両面粘着紙テープ	100%	6,176 個	6,106 個	0 個	0 個	0 個	99%	99%	813 個	基材は古紙ハルブ配合率100%	54 個	70 個	再生プラスチック使用量未達成	再生プラスチック使用量未達成	安価であったため、該当品を入手できなかったため
	製本テープ	100%	12,831 個	12,638 個	5 個	19 個	19 個	98%	98%	3,376 個	基材は古紙ハルブ配合率70%以上	123 個	193 個	古紙ハルブ配合率5%以上	再生素材使用	再生素材使用
	ブックスタンド	100%	2,611 個	2,529 個	—	—	—	97%	97%	218 個	再生プラスチック配合率70%以上、製品の包装が簡易	21 個	82 個	再生プラスチック使用量未達成	再生プラスチック使用量未達成	コスト削減・競争性確保により
	ペンスタンド	100%	153 個	153 個	—	—	—	100%	100%	15 個	製品の包装が簡易	0 個	0 個	—	—	—
	クリップケース	100%	646 個	646 個	—	—	—	100%	100%	13 個	再生プラスチック配合率40%以上	0 個	0 個	—	—	—
	はさみ	100%	4,412 個	4,403 個	—	—	—	100%	100%	402 個	再利用を容易に行うように、分離の工夫	8 個	9 個	グリーン購入法非適合商品	グリーン購入法非適合商品	コスト削減・競争性確保により
	マグネット(玉)	100%	5,508 個	5,425 個	—	—	—	98%	98%	995 個	製品の包装の再利用が容易	0 個	83 個	グリーン購入法非適合商品	環境負荷のなるべく低いものを選択	該当品を入手できなかったため
	マグネット(バー)	100%	3,709 個	3,709 個	—	—	—	100%	100%	616 個	製品の包装の再利用が容易	0 個	0 個	—	—	—
	テープカッター	100%	618 個	618 個	—	—	—	100%	100%	20 個	適正な廃棄を容易に行うための分別の工夫	3 個	0 個	グリーン購入法非適合商品	グリーン購入法非適合商品	コスト削減・競争性確保により
	ハンチ(手動)	100%	734 個	734 個	—	—	—	100%	100%	72 個	適正な廃棄を容易に行うための分別の工夫	10 個	0 個	グリーン購入法非適合商品	グリーン購入法非適合商品	該当品を入手できなかったため
	モルトケース(紙めくり用スポンジケース)	100%	25 個	25 個	—	—	—	100%	100%	5 個	容器に再生プラスチックを使用	0 個	0 個	—	—	—
	紙めくりクリーム	100%	4,637 個	4,637 個	—	—	—	100%	100%	329 個	再生プラスチック配合率100%	4 個	0 個	—	—	—
	鉛筆削(手動)	100%	41 個	41 個	—	—	—	100%	100%	7 個	適正な廃棄を容易に行うための分別の工夫	0 個	0 個	—	—	—
	OAクリーナー(ウエットタイプ)	100%	35,145 個	35,096 個	—	—	—	100%	100%	1,020 個	再生プラスチック配合率100%、内容物が補充可能	55 個	49 個	使い切りタイプ	—	—
	OAクリーナー(液タイプ)	100%	152 個	152 個	—	—	—	100%	100%	46 個	再生プラスチック配合率100%、内容物が補充可能	0 個	0 個	—	—	—
	ダストブロワー	100%	708 個	708 個	—	—	—	100%	100%	57 個	代替フロン未使用	0 個	0 個	—	—	—
	レターケース	100%	670 個	666 個	0 個	0 個	0 個	99%	99%	26 個	再生プラスチック配合率40%以上	2 個	4 個	再生プラスチック使用量未達成	再生プラスチック使用量未達成	予算上の制約
	メディアケース(FD・CD・MO用)	100%	10,498 個	10,478 個	—	—	—	100%	100%	186 個	再生プラスチックを使用	5 個	20 個	再生プラスチック使用量未達成	再生プラスチック使用量未達成	該当品を入手できなかったため
	マウスパッド	100%	1,841 個	1,841 個	—	—	—	100%	100%	190 個	再生ポリプロピレン樹脂60%使用	2 個	0 個	—	—	—
	OAフィルター(枠あり)	100%	99 個	99 個	—	—	—	100%	100%	92 個	枠部で再生プラスチック配合率50%以上使用	0 個	0 個	—	—	—
	丸刃式紙裁断機	100%	17 台	16 台	—	—	—	94%	94%	0 台	—	0 台	1 台	グリーン購入法非適合商品	グリーン購入法非適合商品	寸法等の仕様により、該当品不存在
	カッターナイフ	100%	3,431 個	3,431 個	—	—	—	100%	100%	348 個	再生プラスチック配合率40%以上、使用刃の交換可能	3 個	0 個	—	—	—
	カッティングマット	100%	276 個	276 個	—	—	—	100%	100%	32 個	マットが両面使用可能	4 個	0 個	—	—	—
	デスクマット	100%	1,386 個	1,369 個	—	—	—	99%	99%	109 個	再生アクリル樹脂配合率40%以上(42%)	14 個	17 個	再生プラスチック使用量未達成	再生プラスチック使用量未達成	機能・性能上の必要性
	OHPフィルム	100%	1,374 個	1,374 個	—	—	—	100%	100%	0 個	—	0 個	0 個	—	—	—
	絵筆	100%	425 個	425 個	—	—	—	100%	100%	192 個	再生プラスチックを使用	0 個	0 個	—	—	—
	絵の具	100%	591 個	591 個	—	—	—	100%	100%	551 個	容器に再生プラスチックを使用	271 個	0 個	—	—	—
	墨汁	100%	12 個	12 個	—	—	—	100%	100%	9 個	容器に再生プラスチックを使用	0 個	0 個	—	—	—
	のり(液状)(補充用を含む。)	100%	13,467 個	13,400 個	—	—	—	100%	100%	1,214 個	再生プラスチック配合率70%以上、内容物の補充が可能	101 個	67 個	古紙ハルブ配合率未達成	古紙ハルブ配合率未達成	コスト削減・競争性確保により
	のり(澱粉のり)(補充用を含む。)	100%	477 個	477 個	—	—	—	100%	100%	339 個	内容物の補充が可能	10 個	0 個	—	—	—
のり(固形)	100%	47,195 個	47,178 個	—	—	—	100%	100%	3,950 個	再生プラスチック配合率70%以上、内容物の補充が可能	70 個	17 個	再生樹脂使用量未達成	再生樹脂使用量未達成	該当品を入手できなかったため	
のり(テープ)	100%	22,767 個	22,767 個	—	—	—	100%	100%	2,312 個	再生プラスチック配合率70%以上、消耗品の交換が可能	30 個	0 個	—	—	—	
ファイル	100%	1,580,172 冊	1,576,904 冊	0 冊	0 冊	0 冊	100%	100%	131,912 冊	古紙ハルブ配合率100%、裏紙と表紙を分離し、部品を再使用できる構造	11,512 冊	3,268 冊	古紙ハルブ配合率未達成	古紙ハルブ配合率未達成	とじ具の再使用可能	
バインダー	100%	32,453 冊	32,288 冊	0 冊	0 冊	0 冊	99%	99%	1,139 冊	古紙ハルブ配合率100%、裏紙と表紙を分離し、部品を再使用できる構造	3,790 冊	165 冊	古紙ハルブ配合率未達成	再生素材使用	予算上の制約	
ファイリング用品	100%	267,739 個	259,459 個	0 個	0 個	0 個	97%	97%	33,487 個	表紙ととじ具を分離し、部品を再使用できる構造	50,020 個	8,280 個	再生プラスチック使用量未達成	再生プラスチック使用量未達成	該当品を入手できなかったため	
アルバム	100%	54 個	54 個	—	—	—	100%	100%	50 個	表紙ととじ具を分離し、部品を再使用できる構造	0 個	0 個	—	—	—	
つづりひも	100%	259,034 個	240,534 個	0 個	0 個	0 個	93%	93%	12,382 個	再生PET繊維配合率100%	3,480 個	18,500 個	再生プラスチック使用量未達成	再生プラスチック使用量未達成	仕様上該当する商品がなかったため	
カードケース	100%	28,925 個	28,925 個	—	—	—	100%	100%	2,441 個	再生プラスチックを使用、製品の包装が簡易	81 個	0 個	—	—	—	
事務用封筒(紙製)	100%	42,791,571 枚	42,781,571 枚	1,023,500 枚	41,000 枚	41,000 枚	100%	100%	2,061,060 枚	古紙ハルブ配合率100%	21,433,161 枚	10,000 枚	古紙ハルブ配合率未達成	古紙ハルブ配合率未達成	予算上の制約	
窓付き封筒(紙製)																

分野	品目	① 目標値	② 総調達量	③ 特定調達物品等の調達量	④ 準特定調達物品等の調達量		⑤ 目標達成率 =④/① (一部=③/①)	判断の基準より高い水準を満足する物品等を調達した場合		判断の基準を満足しない物品等を調達した場合		⑬ 備考					
					④ 特定調達物品等の調達率 =③/②	⑤ 目標達成率 =④/① (一部=③/①)		⑥ 調達量	⑦ 具体的仕様 環境への配慮の内容	⑧ 材料に紙、木質が含まれる場合で原料となる原木の合法性が証明された物品等の調達量	⑨ 調達量		⑩ 具体的仕様の主な例		⑪ 主な理由		
													⑩ 具体的仕様の主な例	⑪ 環境への配慮の内容			
付箋フィルム	付箋フィルム	100%	3,890 個	3,890 個			100%	100%	1,707 個	粘着材が水溶性	0 個	0 個	—	—	—		
	黒板拭き	100%	123 個	123 個			100%	100%	0 個	—	0 個	0 個	—	—	—		
	ホワイトボード用イレーザー	100%	503 個	502 個			100%	100%	30 個	再生ABS樹脂配合率100%	11 個	1 個	再生プラスチック使用量未達成	コスト削減・競争性確保により			
	額縁	100%	471 個	417 個			89%	89%	79 個	フレームに端材等の再生資源を使用	1 個	54 個	再生プラスチック使用量未達成	コスト削減・競争性確保により			
	ごみ箱	100%	1,498 個	1,497 個			100%	100%	492 個	再生プラスチック配合率100%	8 個	1 個	スチール製、蓋付	機能・性能上の必要性			
	リサイクルボックス	100%	104 個	100 個			96%	96%	4 個	再生プラスチック配合率70%以上使用	0 個	4 個	再生プラスチック使用量未達成	機能・性能上の必要性			
	缶・ボトルつぶし機(手動)	100%	0 個	0 個			%	%	0 個	—	0 個	0 個	—	—	—		
	名札(机上用)	100%	1,639 個	1,599 個			98%	98%	1 個	再生プラスチックを使用	1 個	40 個	再生素材未使用	該当品を入手できなかったため			
	名札(衣服取付型・首下げ型)	100%	25,829 個	25,799 個			100%	100%	3,460 個	再生PC・PP配合率100%	400 個	30 個	再生素材未使用	単価が安いため			
	鍵かけ(フックを含む)	100%	472 個	472 個			100%	100%	0 個	—	0 個	0 個	—	—	—		
	チョーク	100%	696 本	696 本			100%	100%	0 本	—	0 本	0 本	—	—	—		
	グラウンド用白線	100%	7 kg	7 kg			100%	100%	0 kg	—	0 kg	0 kg	—	—	—		
	オフィス家具等(10)	いす	100%	7,048 脚	7,047 脚			100%	100%	919 脚	各部に再生プラスチックを使用、長期間の使用が可能な設計	19 脚	1 脚	再生プラスチック使用量未達成	機能・性能上の必要性		
		机	100%	2,726 台	2,712 台			99%	99%	355 台	各部に再生プラスチックを使用、長期間の使用が可能な設計	14 台	14 台	リサイクル配慮設計不十分	予算上の制約		
		棚	100%	2,252 連	2,251 連			100%	100%	308 連	修理及び部品交換が容易である等長期間の使用が可能な設計	13 連	1 連	再生プラスチック使用量未達成	機能・性能上の必要性		
収納用什器(棚以外)		100%	2,538 台	2,514 台			99%	99%	128 台	修理及び部品交換が容易である等長期間の使用が可能な設計	0 台	24 台	リサイクル配慮設計不十分	設置スペース上の制約			
ローパーティション		100%	1,982 台	1,980 台			100%	100%	585 台	単一素材分解可能率が75%以上	0 台	2 台	リサイクル配慮設計不十分	予算・仕法等の事象により該当品がなかった			
コートハンガー		100%	60 台	60 台			100%	100%	6 台	製品の梱包が簡易	0 台	0 台	—	—	—		
傘立て		100%	89 台	89 台			100%	100%	11 台	製品の包装が簡易	0 台	0 台	—	—	—		
掲示板		100%	112 個	112 個			100%	100%	8 個	製品の包装が簡易	2 個	0 個	—	—	—		
黒板		100%	1 個	1 個			100%	100%	0 個	—	0 個	0 個	—	—	—		
ホワイトボード		100%	158 個	157 個			99%	99%	27 個	修理及び部品交換が容易である等長期間の使用が可能な設計	1 個	1 個	再生プラスチック使用量未達成	寸法等の制約による			
OA機器(17)		コピー機等	コピー機等合計	購入	405 台	403 台					44 台	修理及び部品交換が容易である等長期間の使用が可能な設計	2 台	2 台	基準エネルギー基準値未達成	リース製品の買取であったため	
				リース・レンタル(新規)	314 台	314 台			100%	100%	35 台	材料の再生利用のための設計上の工夫	0 台	—	—	—	
				リース・レンタル(継続)	2,559 台	2,559 台							0 台	—	—	—	
			コピー機	購入	205 台	205 台						20 台	修理及び部品交換が容易である等長期間の使用が可能な設計	0 台	—	—	—
				リース・レンタル(新規)	181 台	181 台						14 台	材料の再生利用のための設計上の工夫	0 台	—	—	—
	リース・レンタル(継続)			2,139 台	2,139 台							0 台	—	—	—		
	複合機		購入	188 台	186 台						24 台	無鉛部品の使用	2 台	2 台	基準エネルギー基準値未達成	リース製品の買取であったため	
			リース・レンタル(新規)	87 台	87 台						21 台	リユースに配慮、省エネ設計	0 台	—	—	—	
			リース・レンタル(継続)	397 台	397 台							0 台	—	—	—		
	拡張性デジタルコピー機		購入	12 台	12 台						0 台	—	0 台	—	—	—	
			リース・レンタル(新規)	46 台	46 台						0 台	—	0 台	—	—	—	
			リース・レンタル(継続)	23 台	23 台							0 台	—	—	—		
	電子計算機		電子計算機合計	購入	2,560 台	2,559 台					490 台	マニュアルの電子化、エネルギー消費効率が判断基準以上	1 台	1 台	基準エネルギー基準値未達成	機能・性能上の必要性	
				リース・レンタル(新規)	1,061 台	1,061 台			100%	100%	293 台	再生プラスチックの使用	0 台	—	—	—	
				リース・レンタル(継続)	8,504 台	8,496 台							8 台	基準エネルギー基準値未達成	グリーン購入法施行以前の製品であるため		
デスクトップパソコン		購入	689 台	688 台						144 台	マニュアルの電子化、エネルギー消費効率が判断基準以上	1 台	1 台	基準エネルギー基準値未達成	機能・性能上の必要性		
		リース・レンタル(新規)	174 台	174 台						128 台	再生素材使用	0 台	—	—	—		
		リース・レンタル(継続)	2,289 台	2,287 台							2 台	基準エネルギー基準値未達成	グリーン購入法施行以前の製品であるため				
ノートパソコン		購入	1,820 台	1,820 台						333 台	マニュアルの電子化、エネルギー消費効率が判断基準以上	0 台	—	—	—		
		リース・レンタル(新規)	861 台	861 台						164 台	再生プラスチックの使用	0 台	—	—	—		
		リース・レンタル(継続)	6,200 台	6,200 台							0 台	—	—	—			
その他の電子計算機		購入	51 台	51 台						13 台	マニュアルの電子化により、付属品を可能な限り削減	0 台	—	—	—		
	リース・レンタル(新規)	26 台	26 台						1 台	修理及び部品交換が容易である等長期間の使用が可能な設計	0 台	—	—	—			
	リース・レンタル(継続)	15 台	9 台							6 台	基準エネルギー基準値未達成	グリーン購入法施行以前の製品であるため					
プリンタ等	プリンタ等合計	購入	742 台	740 台					156 台	再生材料を多用、分解が容易である等再生利用のための設計上の工夫	2 台	2 台	基準エネルギー基準値未達成	予算上の制約			
		リース・レンタル(新規)	309 台	309 台			100%	100%	149 台	再生プラスチックの使用	0 台	—	—	—			
		リース・レンタル(継続)	2,534 台	2,291 台							243 台	基準エネルギー基準値未達成	グリーン購入法施行以前の製品であるため				
	プリンタ	購入	724 台	722 台						150 台	再生材料を多用、分解が容易である等再生利用のための設計上の工夫	2 台	2 台	基準エネルギー基準値未達成	予算上の制約		
		リース・レンタル(新規)	299 台	299 台						149 台	再生プラスチックの使用	0 台	—	—	—		
		リース・レンタル(継続)	2,525 台	2,282 台							243 台	基準エネルギー基準値未達成	グリーン購入法施行以前の製品であるため				
	プリンタ/ファクシミリ兼用機	購入	18 台	18 台						6 台	修理及び部品交換が容易である等長期間の使用が可能な設計	0 台	—	—	—		
		リース・レンタル(新規)	10 台	10 台						0 台	—	0 台	—	—			
		リース・レンタル(継続)	9 台	9 台							0 台	—	—	—			
	ファクシミリ	購入	148 台	148 台						12 台	再生材料を多用、省電力モード基準値以上	0 台	—	—	—		
リース・レンタル(新規)		9 台	9 台			100%	100%	0 台	—	0 台	—	—	—				
リース・レンタル(継続)		45 台	45 台							0 台	—	—	—				
スキャナ	購入	128 台	128 台						19 台	分解が容易である等再生利用のための設計上の工夫、製品の包装が簡易	0 台	—	—	—			
	リース・レンタル(新規)	18 台	18 台						0 台	—	0 台	—	—				
	リース・レンタル(継続)	359 台	359 台							0 台	—	—	—				
磁気ディスク装置	購入	176 台	176 台						53 台	再生素材使用、製品の包装が可能な限り簡易	0 台	—	—	—			
	リース・レンタル(新規)	7 台	7 台			100%	100%	0 台	—	0 台	—	—	—				
	リース・レンタル(継続)	0 台	0 台							0 台	—	—	—				
ディスプレイ	購入	355 台	355 台						17 台	製品の包装が可能な限り簡易	0 台	—	—	—			
	リース・レンタル(新規)	48 台	48 台						0 台	—	0 台	—	—				
	リース・レンタル(継続)	2,625 台	2,619 台							6 台	消費電力等の基準値未達成	グリーン購入法施行以前の製品であるため					
シュレッダー	購入	188 台	188 台						31 台	製品の包装が可能な限り簡易	0 台	—	—	—			
	リース・レンタル(新規)	0 台	0 台			100%	100%	0 台	—	0 台	—	—	—				
	リース・レンタル(継続)	3 台	3 台							0 台	—	—	—				
デジタル印刷機	購入	69 台	69 台						7 台	修理及び部品交換が容易である等長期間の使用が可能な設計	0 台	—	—	—			
	リース・レンタル(新規)	12 台	12 台			100%	100%	0 台	—	0 台	—	—	—				
	リース・レンタル(継続)	40 台	40 台							0 台	—	—	—				
記録用メディア	一次電池又は小型充電式電池	購入	78,200 個	77,872 個					9,154 個	再生プラスチック配合率30%以上、製品の包装が可能な限り簡易	0 個	328 個	再生プラスチック使用量未達成ほか	環境負荷のなるべく低いものを選択	該当品を入手できなかったため		
		一次電池のうち防災備蓄用品として調達したもの	98,067 個	97,069 個			99%	99%	40,061 個	最低平均持続時間以上、製品の包装が可能な限り簡易	998 個	998 個	最低平均持続時間未達成	該当品を入手できなかったため			
	電子式卓上計算機	購入	2,212 個	2,154 個						122 個	使用電力50%以上を太陽電池から供給、製品の包装が可能な限り簡易	58 個	58 個	再生プラスチック使用量未達成	予算上の制約		
		トナーカートリッジ	90,708 個	90,293 個			97%	97%	7,446 個	使用済み製品の回収システム、製品の包装が可能な限り簡易	100%	415 個	再利用率50%未満	機器対応の純正品			
	インクカートリッジ	購入	52,221 個	51,618 個						3,893 個	使用済み製品の回収システム、製品の包装が可能な限り簡易	603 個	603 個	再利用率50%未満	機器対応の純正品		
		購入	273 台	273 台			100%	100%	28 台	基準エネルギー消費効率達成、再生プラスチックを可能な限り使用	0 台	—	—	—			

分野	品目		① 目標値	② 総調達量	③ 特定調達物品等の調達量	④ 準特定調達物品等の調達量		⑤ 目標達成率 =④/① (一部=③/①)	⑥ 特定調達物品等の調達率 =③/②		⑦ 調度量 ③の内数	⑧ 材料に紙、木質が含まれる場合で原料となる原木の合法性が証明された物品等の調達量	⑨ 判断の基準を満足しない物品等を調達した場合		⑩ 備考		
						④ 準特定調達物品等の調達量			⑥ 調度量	⑦ 調度量			⑨ 調度量	⑩ 調度量			
						④ 準特定調達物品等の調達量 (第1四半期調達分)	④ 準特定調達物品等の調達量 (第2~第4四半期分)									⑥ 調度量 ③の内数	⑦ 調度量 ③の内数
外	その他	購入	%	0 台									0 台	—	—		
		リース・レンタル(新規)		0 台										0 台	—	—	
		リース・レンタル(継続)		0 台										0 台	—	—	
	ETC対応車載器			98 個	335 個	335 個			100 %	342 %							
	カーナビゲーションシステム			231 個	89 個	89 個			100 %	39 %	0 個						
	一般公用車用タイヤ			100 %	1,027 本	1,027 本			100 %	100 %	72 本	走行時の静粛性の確保に配慮、製品の包装が可能な限り簡易					
2サイクルエンジン油			100 %	155 ㍓	155 ㍓			100 %	100 %	7 ㍓	廃棄時の負担低減に配慮						
消火器 (1)	消火器		100 %	812 本	803 本			99 %	99 %	184 本	製品の回収及び再使用又は再生利用が35%、再生プラスチックの使用		9 本	清化薬剤の再生原料が重量比40%未満		該当品を入手できなかったため	
制服・作業服 (2)	制服		100 %	735 着	735 着			100 %	100 %	66 着	製品の梱包が可能な限り簡易		0 着				
	作業服		100 %	5,912 着	5,644 着			95 %	95 %	294 着	再生樹脂を使用、製品の梱包が可能な限り簡易		268 着			該当品を入手できなかったため	
インテリア・装飾器具 (10)	カーテン		100 %	184 枚	116 枚			63 %	63 %	66 枚	製品の梱包が可能な限り簡易		68 枚	再生PET樹脂使用量未達成	簡易包装	機能・性能上の必要性	
	布製ブラインド		100 %	22 枚	22 枚			100 %	100 %	0 枚			0 枚				
	タフテッドカーベット		100 %	39 ㎡	14 ㎡			36 %	36 %	0 ㎡			25 ㎡	再生PET樹脂使用量未達成	簡易包装	機能・性能上の必要性	
	タイルカーベット		100 %	726 ㎡	216 ㎡			30 %	30 %	81 ㎡	製品の梱包が可能な限り簡易		510 ㎡	再生素材使用量未達成		機能・性能上の必要性	
	織じゅうたん		100 %	5 ㎡	5 ㎡			100 %	100 %	0 ㎡			0 ㎡				
	ニードルパンチカーベット		100 %	0 ㎡	0 ㎡			%	%	0 ㎡			0 ㎡				
	毛布(防災用を含む)	購入	100 %	184 枚	160 枚			87 %	87 %	42 枚	再生ポリエステルを10%以上使用、製品の梱包が可能な限り簡易		24 枚	再生ポリエステル10%以下	梱包が再生利用可能	予算上の制約	
		リース・レンタル(新規)		0 枚	0 枚					0 枚			0 枚				
		リース・レンタル(継続)		25 枚	25 枚					0 枚			0 枚				
	ふとん	購入	100 %	241 枚	208 枚			84 %	84 %	11 枚	再生ポリエステルを10%以上使用、製品の梱包が可能な限り簡易		33 枚	再生PET樹脂使用量未達成	梱包が再生利用可能	吸汗・速乾性能等を重視したため	
リース・レンタル(新規)			20 枚	10 枚					0 枚			10 枚	再生PET樹脂使用量未達成	梱包が再生利用可能	費用が安価なため		
リース・レンタル(継続)			32 枚	32 枚					0 枚			0 枚					
ベッドフレーム	購入	100 %	12 台	12 台			100 %	100 %	0 台			0 台					
	リース・レンタル(新規)		405 台	405 台					0 台			0 台					
	リース・レンタル(継続)		0 台	0 台					0 台			0 台					
マットレス	購入	100 %	446 個	446 個			100 %	100 %	1 個	製品の梱包が可能な限り簡易		0 個					
	リース・レンタル(新規)		12 個	12 個					0 個			0 個					
	リース・レンタル(継続)		35 個	35 個					0 個			0 個					
作業手袋 (1)	作業手袋(防災用を含む)		100 %	11,742 組	11,740 組			100 %	100 %	5,827 組	再生ポリエステルを70%以上使用、製品の梱包が可能な限り簡易		2 組	再生PET樹脂使用量未達成		機能・性能上の必要性	
その他繊維製品(3)	集会用テント(防災用を含む)	購入	100 %	1 台	1 台			100 %	100 %	0 台			0 台				
		リース・レンタル(新規)		4 台	4 台					0 台			0 台				
		リース・レンタル(継続)		0 台	0 台					0 台			0 台				
	ブルーシート(防災用を含む)	購入	100 %	4 枚	4 枚			100 %	100 %	0 枚			0 枚				
		リース・レンタル(新規)		0 枚	0 枚					0 枚			0 枚				
防球ネット			100 %	0 枚	0 枚			%	%	0 枚			0 枚				
設備 (5)	太陽光発電システム		11107 kw	56 kw	56 kw			100 %	1 %								
	太陽熱利用システム		50 ㎡	0 ㎡	0 ㎡			%	0 %								
	燃料電池		0 kw	1 kw	1 kw			100 %	%								
	生ゴミ処理機	食堂事業者が設置		0 台	0 台												
		自ら設置	購入	0 台	2 台	2 台			%	%							
			リース・レンタル(新規)		15 台	15 台											
節水機器			100 %	0 個	0 個			%	%	0 個			0 個				
防災備蓄用品 (11) (新規6品目)	ペットボトル飲料水		100 %	3,551 本	3,551 本			100 %	100 %	420 本	使用後の再利用適正に優れた容器とするための設計		0 本				
	アルファ化米		100 %	363 個	363 個			100 %	100 %	20 個	回収・再使用による廃棄物排出抑制等に係る仕組み		0 個				
	乾パン		100 %	250 個	250 個			100 %	100 %	250 個	回収・再使用による廃棄物排出抑制等に係る仕組み		0 個				
	缶詰		100 %	30,018 個	30,018 個			100 %	100 %	8,016 個	回収・再使用による廃棄物排出抑制等に係る仕組み		0 個				
	レトルト食品		100 %	305 個	305 個			100 %	100 %	0 個			0 個				
	非常用携帯燃料		100 %	0 個	0 個			%	%	0 個			0 個				
公共工事 (58)			別途														
役務 (13)	省エネルギー診断		1 件	2 件	2 件			100 %	200 %								
	印刷	生ゴミ処理機設置	100 %	9,756 件	9,629 件	9 件	古紙バルブ配合紙使用	0 件	古紙バルブ配合紙使用	99 %	99 %	416 件	再生の梱包資材となる材料等の使用の抑制、製品の包装が簡易	31 件	127 件	大豆油製インク使用、簡易包装ほか フロッピーの廃棄、梱包での廃棄物削減に関する取組	
		食堂	1 件	0 件	0 件	0 件				100 %	200 %						
	処理委託			2 件	2 件												
	自動車専用タイヤ更生		12 件	31 件	31 件					100 %	258 %						
	自動車整備	部品交換を伴う整備(リユース・リビルド部品)		100 %	1,377 件	1,323 件	413 件			96 %	96 %			54 件	バッテリー等リサイクル部品等未使用	最小限度の整備、簡易包装	機能・性能上の必要性、納期との関係
		判断基準を要件として求めて発注したもの			0 件	0 件											
		エンジン洗浄			0 件	0 件											
	庁舎管理		100 %	1,327 件	1,327 件					100 %	100 %	489 件	特定調達品目に該当しない場合でも、環境負荷の低減を考慮	0 件			
	植栽管理		100 %	89 件	89 件					100 %	100 %	2 件	手作業による除草等環境負荷の低減	0 件			
	清掃		100 %	1,762 件	1,755 件					100 %	100 %	238 件	ゴミの分別収集、補充品等の適度な補充	7 件			
	害虫防除		100 %	79 件	79 件					100 %	100 %	1 件	環境マネジメントシステム構築	0 件			
	輸配送		100 %	6,257 件	6,257 件					100 %	100 %	32 件	エコドライブを推進するための措置	0 件			
旅客輸送		100 %	34 件	34 件					100 %	100 %	0 件						
蛍光灯機能提供業務		5 件	4 件	4 件					100 %	80 %							
庁舎等において営業を行う小売業務		%	2 件	2 件					100 %	%	1 件	容器包装の過剰な使用を抑制するための取組	0 件				